


(様式 1)

県政調査計画書

平成29年10月6日

県議会議長 佐藤 光 殿

会派名 公明党神奈川県議会議員団

団長名 渡辺 ひとし 

(署名又は記名押印)

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 渡辺 ひとし (団 員) 赤井 かずのり 鈴木 ひでし 高橋 稔 佐々木 正行 亀井 たかつぐ
2 調査目的	薬の振る舞いと効き目を体内で測る新技術である、針状の「ダイヤモンド電極センサー」を用いた薬物モニタリングシステムを開発した新潟大学の研究成果や、今年の7月に豪雨災害で大きな被害を受けた佐渡市の災害復旧に向けた取組を調査するとともに、安全で利便性の高い医療や介護の提供を目指してNPO法人佐渡地域医療連携推進協議会が運営する「さどひまわりネット」の取組や、国際社会で活躍できる高度な専門的知識を持った職業人の育成を行っている国際大学のグローバル教育を調査することにより県政の参考とする。
3 調査期間	平成29年11月14日～平成29年11月16日
4 調査地	新潟県
5 調査項目	(1) 新潟大学 新潟大学では、薬の振る舞いと効き目を体内で測る新技術である、針状の「ダイヤモンド電極センサー」を用いた薬物モニタリングシステムを開発した研究成果や、今年の7月に豪雨災害で大きな被害を受けた佐渡市の災害復旧に向けた取組を調査するとともに、安全で利便性の高い医療や介護の提供を目指してNPO法人佐渡地域医療連携推進協議会が運営する「さどひまわりネット」の取組や、国際社会で活躍できる高度な専門的知識を持った職業人の育成を行っている国際大学のグローバル教育を調査することにより県政の参考とする。



を用いた薬物モニターシステムの開発を行っている。これは、体内に入った薬が全身の臓器に行き渡った際に、その濃度と細胞の働きの変化を測るものであり、この技術は、薬の副作用を抑えて効果を最大にする投薬法や、安心・安全・有効な創薬の発展へとつながることが期待される。新潟大学における本研究の内容と成果を調査することにより、本県における医療施策の参考とする。

#### (2) 佐渡市役所

佐渡市は、今年の7月下旬に「50年に1度の大雨」に見舞われ、河川の堤防の決壊や道路の冠水、土砂崩れなどが発生し、大きな被害を受けた。佐渡市では、現在も復旧に向けた取組が進められている。佐渡市における災害復旧に向けた取組を調査することにより、本県における防災対策や災害復旧対策の参考とする。

#### (3) NPO法人佐渡地域医療連携推進協議会

佐渡島内では、病院、医科診療所、歯科診療所、調剤薬局、介護福祉施設をネットワークで双方向に結び、患者の情報を互いに共有することで、治療内容や服用している薬を把握し、安全で利便性の高い医療や介護の提供を目指す「さどひまわりネット」を運営している。同協議会の運営する「さどひまわりネット」の仕組みや効果を調査することにより、本県における超高齢社会に対応した効果的な医療・介護の提供体制を構築するための施策の参考とする。

#### (4) 国際大学

国際大学は、「世界が直面するグローバルな課題の

	<p>実践的解決に貢献できるリーダーの育成」を目指して  1982年に設立された日本初の大学院大学であり、  国際社会で活躍できる高度な専門的知識を持った職  業人の育成が行われている。同大学が行うグローバ  ルな人材を育成するための教育を調査することにより、  本県におけるグローバル教育の参考とする。</p>
<p>6 経費の概算額</p>	<p>一人当たりの議員旅費… 83,360 円  内訳 交通費 50,000 円  宿泊費 33,000 円  日 当 360 円</p>

\* 日程表を添付する。

## 県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関	調査箇所及び調査内容
1	11/14 (火)	新潟県	午前  午後	公共交通機関等  公共交通機関等	移動(東京駅～新潟駅) JR上越新幹線で新潟市へ移動  ●視察1「新潟大学」 ・薬の振る舞いと効き目を体内で測る新技術 針状「ダイヤモンド電極センサー」について  公共交通機関等 移動(新潟港～両津港) 佐渡汽船で佐渡市へ移動  ＜佐渡市内泊＞
2	11/15 (水)	新潟県  新潟県	午前  午後	公共交通機関等  公共交通機関等	●視察2「佐渡市役所」 ・今夏の豪雨災害に対する取組状況について  ●視察3「NPO法人佐渡地域医療連携推進協議会」 ・さどひまわりネットについて  公共交通機関等 移動(両津港～新潟港) 佐渡汽船で新潟市へ移動  ＜新潟市内泊＞
3	11/16 (木)	新潟県	午前  午後	公共交通機関等  公共交通機関等	移動(新潟駅～浦佐駅) JR上越新幹線で南魚沼市へ移動  ●視察4「国際大学」 ・グローバル教育の取組について  移動(浦佐駅～東京駅) JR上越新幹線で東京都へ移動  ※東京駅到着後解散

※ 現地時間は、当該都市における時間である。

## 県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 渡辺 ひとし (団 員) 赤井 かずのり 鈴木 ひでし 高橋 稔 佐々木 正行 亀井 たかつぐ
---------	--

## 1 要領2(1)の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調査経費	議員1人当たり100万円以内	議員1人当たりの経費は83,360円であり、基準を満たしている。	適
② 調査箇所	1日につき午前及び午後それぞれ1箇所以上調査実施 移動日は1箇所以上調査実施	移動日については、1箇所以上、それ以外の日については午前及び午後それぞれ1箇所以上調査を実施する行程となっている。	適

## 2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	<p>(1) 新潟大学では、薬の振る舞いと効き目を体内で測る新技術である、針状の「ダイヤモンド電極センサー」を用いた薬物モニターシステムの開発を行っている。これは、体内に入った薬が全身の臓器に行き渡った際に、その濃度と細胞の働きの変化を測るものであり、この技術は、薬の副作用を抑えて効果を最大にする投薬法や、安心・安全・有効な創薬の発展へとつながることが期待される。本県でも医薬品の適正使用や医療の効率的な提供に取り組んでおり、新潟大学における本研究の内容と成果を調査することは、本県の医療施策に資する。</p> <p>(2) 佐渡市は、今年の7月下旬に「50年に1度の大雨」に見舞われ、河川の堤防の決壊や道路の冠水、土砂崩れなどが発生し、大きな被害を受け、現在も復旧に向けた取組が進められている。本県でも近年ゲリラ豪雨の増加に伴い、災害の発生の危険性が増しており、佐渡市におけ</p>

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	<p>る災害復旧に向けた取組を調査することは、本県における防災対策や災害復旧対策に資する。</p> <p>(3) 佐渡島内では、病院、医科診療所、歯科診療所、調剤薬局、介護福祉施設をネットワークで双方向に結び、患者の情報を互いに共有することで、治療内容や服用している薬を把握し、安全で利便性の高い医療や介護の提供を目指す「さどひまわりネット」を運営している。高齢化が加速する本県において、同協議会の運営する「さどひまわりネット」の仕組みや効果を調査することは、本県における超高齢社会に対応した効果的な医療・介護の提供体制を構築するための施策の推進に資する。</p> <p>(4) 国際大学は、「世界が直面するグローバルな課題の実践的解決に貢献できるリーダーの育成」を目指して1982年に設立された日本初の大学院大学であり、国際社会で活躍できる高度な専門的知識を持った職業人の育成が行われている。本県でもグローバル化に対応した先進的な教育の推進に取り組んでおり、同大学が行うグローバルな人材を育成するための教育を調査することは、本県におけるグローバル教育推進に資する。</p>
② 調査の実施時期が時宜を得たものか。	<p>今回の調査対象項目は、どれも本県の重点施策と関連したものであり、本調査により先進的な取組や事例を調査することは時宜を得たものである。</p>
③ 現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。	<p>各調査項目について、今後の本県における施策の取組に活かしていくためには、現地に赴き、具体、詳細に調査及び聴取しなければ調査目的が達成できないものである。</p>
④ 調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。	<p>調査箇所、行程、経費等は、県政調査実施要領の基準を満たし、妥当なものである。</p>